



十小だより

令和3年7月1日
第4号
府中市立府中第十小学校

府中第十小学校 検索

学校ブログ ユーザー名 10s-blog パスワード Fdai10syo を入力して御覧ください

大谷翔平選手を見て思うこと

校長 内井 利樹

新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりました。東京オリンピック・パラリンピックも開幕します。様々なことが揺れながら進んでいくような気がしますが、学校では昨年度できなかった水泳の学習が始まりました。密を避けるために1クラスごとの実施となるので、回数は少なくなってしまいますが、その時間にたくさん泳ぐことができます。例年よりも一層安全に留意しながら指導をしております。ボランティアとして多くの保護者の皆様にご協力をいただき、誠にありがとうございます。



さて、表題にあるように、メジャーリーグ ロサンゼルスエンジェルスの大谷翔平選手の活躍をニュースで目にしない日はありません。私も高校まで野球をやっていたのですが、高校くらいまでのチームや草野球のチームでは、ピッチャーで4番バッターというのはあまり珍しいことではありません。大谷選手もピッチャーをやりながらバッターとしても頑張っていました。日本のプロ野球に入る時にピッチャーとバッターの二刀流に挑戦することが発表されました。多くの専門家が「無理だ」「ピッチャーだけをやった方が良い」「バッターに専念したら凄い選手になる」と反対をしましたが、大谷選手とチームのスタッフはその挑戦を後押ししました。その後の活躍は良く知られている通りです。

これまでも様々な分野で新しい挑戦をする人が現れました。スポーツだけでなく、例えば何かの調査や研究で、文化・芸術で、政治の世界で、経営の世界で等々、挙げればきりがありません。きっと数え切れない数のトライ&エラーを繰り返し、結果を出してきたのだと思います。大谷選手も同様だと思います。数多くの失敗を繰り返し、ネガティブな感情に負けそうになりながらも挑戦を続けているのだと思います。その姿勢が何よりも大切なことはもちろんのこと、大谷選手のインタビュー等の様子をテレビや新聞で見ていると、チャレンジすることが楽しいというポジティブな感情を感じることも多いです。これが一番の強みなのではないかと思います。前述した様々な分野で挑戦をし続けている人の共通点ではないでしょうか。自分もそうですが、十小の子供たちも挑戦することに楽しみを感じられる人になってほしいと、強く感じています。

東京オリンピック・パラリンピックの開幕が近付いてきました。本校では8月28日(土)に4, 5, 6年生、9月5日(日)に1, 2, 3年生がパラリンピック観戦に行く予定でした。しかし、公共交通機関を利用しなければならないことから、観戦をどうするか再検討しております。東京都、府中市からの通達を待って判断します。後日、お知らせいたします。

また、夏季休業中の水泳指導は、ソーシャルディスタンスを保つことが難しいため、今年度も中止いたします。なお、府中市として行う予定だったプール開放も中止となりました。夏のプールを楽しみにしていた子供たちにとっては残念なお知らせになってしまい、大変申し訳ございません。